

みんなが食べられる 中学校給食？

中学校給食 始まったの？



一体どんな 給食なの？

全国9割の学校でやっていた中学校給食。
横浜市では2021年にやっと始まりました。

でも、配達弁当の「ハマ弁」を給食にして、
生徒が家庭弁当などから選ぶ「選択制」。

食品衛生の問題で冷たい状態でしか配送できず、
お肉やお魚も冷たいまま…

給食調理員さんが学校で作る
小学校のような給食とは全然違います。

今の「選択制デリバリー」方式では
給食をつくる工場の供給体制が確保できず、
生徒全員では食べられません。

給食は、成長期の中学生にとって
心身の発達を支え、将来の食生活を学べる
義務教育の中の重要なツールのひとつ。

生徒全員が食べることができたら
みんなで楽しい給食時間にできるはず。

／ みんなで食べる給食、やってほしい！ ／

「すべての中学校で、みんなができたてを食べられる給食を始めてください」
署名へのご協力をお願いします▶



小学校みたいな 給食がイイ！

横浜の小学校給食は子どもたちが和食に親しめるよう、だしから手作りです。

学校で作る給食のメリットはたくさん！

地産地消の推進で食への理解を深め、食べ残しを減らすこと。

食品の輸送距離が減ることで温室効果ガス排出量を減らすこと。

給食を生かした食育は、子どもたちがSDG sを実践的に学ぶ良い機会にもなります。

横浜市は「スペースの確保が困難」とか「費用がかかる」と言っていますが、

給食室を二階建てにする、近隣の小学校や中学校で作るなど工夫はできる！

横浜の未来をつくる子どもたちのためにお金をかけることは大事なことです。

せっかく始まった中学校給食、もっとイイものにしていこう！

「すべての中学校で、みんなができたてを食べられる給食を始めてください」

署名へのご協力をお願いします▶

